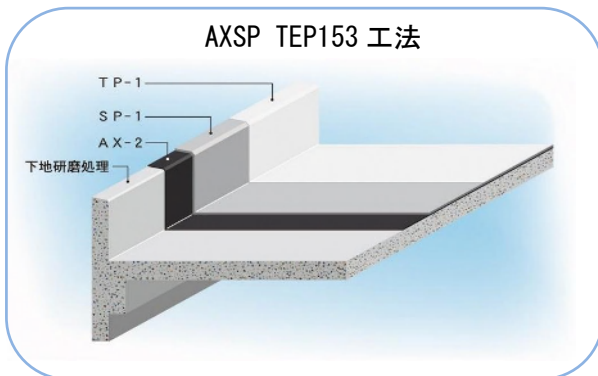




【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-282/2026年3月15日
【技術の名称】	ゴムアスファルト-ウレタンゴム複合塗膜防水工法 「AXSP TEP153 工法」
【依頼者（審査証明取得者）】	株式会社 エフワンエヌ

【技術概要】

本工法は、2種類の異なる防水材からなる複層の塗膜防水工法である。1層目にゴムアスファルト系塗膜防水材、2層目に吹付け高強度形ウレタンゴム系防水材から構成される。防水性能に優れ、薄層で高耐久性の防水工法である。下地はコンクリートとし、脆弱なレイタンス層を専用研磨機により十分に除去し、強靱なコンクリート面を露出させることで、プライマー工程を省略することが可能である。また、補修や次回改修時の施工工程が少なく、塗り重ねることで補修が可能である。



AXSP TEP153 工法材料 平場部・立上り部共用

工程	材料	主成分	使用量 (kg/m ²)
1	AX-2	ゴムアスファルト系塗膜防水材	1.0
2	SP-1	吹付け高強度形ウレタンゴム防水材	1.5
3	TP-1	アクリルウレタン系仕上塗料	0.2

【開発の趣旨】

従来の塗膜防水は、接着不良によるめくれやひび割れによる防水層の破断が多かった。そこで、高い接着力、ひび割れ追従性及び高耐久性を持つ塗膜防水工法を目指し、ゴムアスファルト系塗膜防水材及び吹付け高強度形ウレタンゴム系防水材による複層工法である AXSP TEP153 工法を開発した。

【開発目標および審査証明結果】

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 1層目のゴムアスファルト系塗膜防水材と2層目の吹付け高強度形ウレタンゴム系防水材を重ねることで、一般的な塗膜防水工法（X-2工法）と比較して、同等以上の防水性能を有するものと判断される。
- (2) コンクリート下地のレイタンス層を専用研磨機で除去することによって、平たんで強度の高いコンクリート層を表面に露出し、プライマー工程無しでも防水層とコンクリートとの高い密着性を得ることができるものと判断される。
- (3) 経年劣化後の防水層を非撤去の状態でも、塗膜をオーバーレイさせることで改修が可能であり、次回改修時の塗膜形成が簡易的、かつ廃材の発生が少ないものと判断される。



SP-1吹付け

【本技術の問い合わせ先】

株式会社エフワンエヌ 営業部

TEL : 072-630-2880

FAX : 072-637-4886

<https://fonen.co.jp/>

